

スタディ・メイト通信

令和 8 年 1 月
富 山 県 教 育 委 員 会
教育みらい室特別支援教育課

教育参事・特別支援教育課長 魚津 直美

近年、医療の進歩や特別支援教育への理解の広がり、そして障害の概念の多様化といった社会環境の変化に伴い、特別な教育的支援を必要とする子供たちは増加の一途をたどっています。発達障害等により特別な支援を必要とする児童生徒は、通常の学級にも在籍しており、一人ひとりの特性に応じた柔軟な学びの保障が求められています。

こうした背景の中、現場で子供たちを直接支える「スタディ・メイト（特別支援教育支援員）」の役割は、これまで以上に重要性を増しています。今年度は、新たに45名の方がスタディ・メイト養成講座を修了されました。本講座がスタートした平成18年度以降、1033名の方々に受講していただき、今年度は小中学校等で546名の方がスタディ・メイトとして活躍しておられます。この積み重ねられた歩みこそが、本県のインクルーシブ教育を支える大きな力となっています。

私たちが目指すのは、すべての子供たちが自らの能力を十分に発揮し、自立して社会参加できる未来です。幼稚園から成人期まで、切れ目のない支援のバトンを繋ぐ一翼を担い、目の前の子供たちの小さな成長を一番近くで見守り、支えてくださっている皆様に心より感謝申し上げます。

県教育委員会といたしましても、皆様がより一層安心して、誇りをもってご活躍いただけるよう、今後も養成講座や研修会のさらなる充実に努めてまいります。子供たちの未来を共に創るパートナーとして、引き続きお力添えをいただけますようお願い申し上げます。



今年度のスタディ・メイト養成講座について



5月15日(木)の開講式から、8月26日(火)の修了式まで、全7回にわたり開催しました。

第1回 開講式・講義「ティーチャーズ・トレーニング入門ー子供の力の引き出し方ー」 (5月15日)

講師：富山県こどもこころの相談室代表 深澤 大地 先生

支援者（大人）の方が子供への対応の仕方を見直すことで、新しい関係を構築することを目的とした「ティーチャーズ・トレーニング（Tトレ）」を学びました。step1「行動を3つに分類する」step2「肯定的な注目を与える」step3「好ましくない行動への対応」について、具体的な事例から取組のポイントを教えていただきました。受講者からは、「子供の「好ましい行動」に注目してほめることを大切にしたい」との声が多く寄せられ、子供の可能性を伸ばす温かな支援の輪が広がる機会となりました。



第2回 講義「スタディ・メイトの役割」・グループワーク (6月10日) オンライン

前半は、「スタディ・メイトの役割」についての講義、後半は、「こんなときどうする？」と題して、いくつかの場面を想定し、子供の行動のもつ意味と支援についてグループに分かれて、話し合いました。

県内4地域の特別支援学校を会場に、施設見学や授業参観、発達障害の疑似体験、事例検討など、実践的な研修を行いました。

にいかわ総合支援学校

本研修を通して、子供の行動の背景にある困りごとや気持ちを共感・想像する中で、実践できる支援を見付けたり、「目標や見通しをもつことの意味」を確認したりしました。「先生の助けや児童の気持ちに寄り添える支援をしたい」などの感想が聞かれました。



しらとり支援学校

LD等の疑似体験や効果的な伝え方・ほめ方についての講義、授業参加を通して、児童生徒の支援について研修しました。「つまずきの原因を理解して、子供達が笑顔になるような言葉掛けをしていきたい。」等の感想が聞かれました。



高岡支援学校

発達障害の疑似体験や授業参観等を通して、具体的な支援の仕方について学んだり、座談会で悩み等について意見を出し合ったりしました。「子供の困難さが分かった。自己肯定感が上がるような言葉掛けをしていきたい。」などの感想が聞かれました。



となみ総合支援学校

不器用さ等の疑似体験や、授業参観を通して、環境設定の大切さや個に応じた支援について学びました。グループワークでは、日頃の仕事内容や研修の振り返り等を活発に話し合う姿が見られました。



第5回 講義「小学校における支援の実際」・グループワーク

(7月25日) オンライン

講師：射水市立新湊放生津小学校教諭 三石 悟 先生

インクルーシブ教育や合理的配慮の基礎を学び、支援が必要な子供一人ひとりのニーズを正しく把握（アセスメント）する重要性を再認識しました。また、担任の視点からスタディ・メイトに支援を受けたい場面について教わりました。さらに、グループワークでの事例検討を通じ、子供の困り感の背景を推察して「成功体験を積み重ねる工夫」や「適切な距離感での見守り」を2学期からの実践に活かしたいという前向きな声が多く挙がりました。

第6回 講義「学校教育と特別支援教育」・グループワーク

(8月8日) オンライン

講師：滑川市立西部小学校長 椎名 千里 先生

校長先生からの「スタディ・メイトの先生方は、チーム学校の大切な一員！」の言葉に多くの受講者が勇気をもらい、教職員と連携して子供一人ひとりに寄り添う意欲が高まりました。また、子供の小さな頑張りや「助けて」と言える勇気を認めることの大切さ、そして支援者自身も一人で抱え込まず相談し合う重要性を学んだという声が多く寄せられました。



講師：富山大学教育学部教授 和田 充紀 先生

特別支援教育の概要と障害理解と特性に応じた支援の在り方について、多くの疑似体験により発達障害の特性をより理解できたり、「行動を褒める」「短く具体的に」「その場ですぐに褒める」「子供の喜ぶ褒め方で伝える」等、褒める際の大切なポイントについて実演を交えたりして、分かりやすく学ぶことができました。また、受講者からは、子供の「困り感」の背景にある要因を多角的に捉えるアセスメントの重要性や、スタディ・メイトも専門性を持つ大切な仲間であるという励ましを受け、現場での役割を再認識し、自信をもって子供たちに寄り添いたいという意欲的な声が多く寄せられました。

受講者の声

- ★最初は受講を迷いましたが、昨年受けられた方の勧めで申し込みました。今日で最後なのが残念なくらい、とてもためになりました。受講して良かったと思います。今年一緒に迷っていた方に、来年ぜひ受講を勧めようと思います。（全体アンケートより）
- ★毎年、この講座を受講するか悩み、勇気が出ず、申込みをするのを逃していましたが、今年、思い切って受講して良かったです。いろんな方のお話を聞いて、参考になることがたくさんありました。（全体アンケートより）
- ★特別支援学校の参観は初めてだったので、驚くこともありましたが、のびのびと明るく安心して授業に臨んでいる子供たちは幸せだと思いました。スタディ・メイトとして安心した助けができるよう努力していきたいと思います。（全体アンケートより）
- ★いかに、普段、ほめられる行動をスルーしてしまっているかということに気付きました。小さな行動にたくさんのほめポイントがありました。（第1回事後アンケートより）
- ★教室の中で子供の行動を無視することについてネガティブなイメージだったのですが、ほめて終わることが大切であると分かり、回数を減らしたい行動については、その後にほめることを前提に対応していきたいと思いました。職員間での情報共有も大切だと思いました。（第1回事後アンケートより）
- ★グループワークでは、授業中に他の友達にちょっかいをかけたり、歩き始めたりする児童について話し合いをしました。背景には、授業に興味がない、じっとしているのが苦手、友達が大好きである等の要因を考えました。対処法を話し合う中で特によいと思った工夫は、役割をもたせ立ち歩く機会をつくることです。児童の気質を活用して楽しく授業に取り組めるように体を使う、友達と関わる時間をつくるなどをするすることで、その児童生徒にとって、自然に、穏やかに過ごせるようになるのではないかと感じました。（第5回事後アンケートより）
- ★この研修を受講していて、他のみなさんの的確ですばらしい意見を聞き、毎回学びとともに、自分はいくらふうにはできていないな、という落ち込みの気持ちが強くなっていきました。でも、今日の校長先生の講義を受け、「担任もスタディ・メイトの先生方も、一人一人経験もスキルも同じではない。得意なこと、不得意なことも違う。それがいい！」という言葉に救われました。2学期から、気持ちを切り替えて自分らしく仕事をしたいと思います。（第6回事後アンケートより）
- ★子供と関わる時に大切なことをたくさんお話しされた中で、特に大切だと感じたことは、「子供が困っていることに先回りして支援することではなく、子供が困っていることを伝える力を育てる」ということです。必要なときに必要な手助けをして、子供が自立できるようにしたいです。（第7回事後アンケート）

スタディ・メイト研修会 講義「発達が気になる子どもに寄り添う支援」（11月14日）

スタディ・メイトの資質向上を図るため、現在活躍されているスタディ・メイトや養成講座受講者を対象とした研修会を開催しました。

講師に元特別支援学校長であり、退職後も、保育園長として、子供たちの健やかな成長に情熱を注がれておられる川腰清恵先生をお迎えし、「発達が気になる子どもに寄り添う支援」と題しご講演いただきました。子供の行動の背景に目を向けた支援について、数多くの子供たちや保護者の支援に携わって来られたご経験をもとに、たくさんの事例から教えていただきました。講演後には、受講者で講演で心に残ったことの意見共有や日頃の業務等の情報交換を行いました。

受講者の声～心に残ったキーワード

・ポジティブな思考(9) ・インナーワークライフ(7) ・困った行動は、今、何かを伝えようとしているサイン(3) ・チーム支援(2) ・レジリエンス(困難に立ち向かう力)(2) ・架け橋期(2) ・よいところ、頑張っているところを言葉で伝えていく(2) ・支援員も自分でよかったこと、うまくできたことを見つける(2) ・サラマンカ宣言 ・子供の特性や良さを生かす支援が大切 ・焦らずに寄り添っていく姿勢を大切に ・「あなたのことを大切に思っているよ」「応援しているよ」というメッセージを送り続ける

() 内は、キーワードを選んだ人数

令和8年度の予定

スタディ・メイト養成講座

【第1回】開講式・全体研修会

- ・日時 令和8年5月13日(水) 14:00～16:10
- ・会場 富山県総合教育センター(富山市高田525)

【第2回】全体研修会(オンラインによる受講)

- ・日時 令和8年6月10日(水) 14:00～16:10

【3・4回】実地研修

※実地研修校については、第1回にお知らせします。

会場：特別支援学校(4校)

にいかわ総合支援学校(黒部市石田6682)
しらとり支援学校(富山市婦中町下邑2877)

高岡支援学校(高岡市東海老坂831)
となみ総合支援学校(南砺市利波河1335-5)

【第5回】全体研修会(オンラインによる受講)

- ・日時 令和8年7月29日(水) 14:00～16:10

【第6回】全体研修会(オンラインによる受講)

- ・日時 令和8年8月19日(水) 9:30～11:40

【第7回】全体研修会・閉講式

- ・日時 令和8年8月26日(水) 9:30～12:00
- ・会場 富山県総合教育センター(富山市高田525)

※スタディ・メイト養成講座は、現在、スタディ・メイトとしてご活躍の方でも、講座を未修了であれば受講できます。また、第1回・第7回は、養成講座を受講済みの方も聴講することができます。

※スタディ・メイト養成講座の第1回と第7回は、幼稚園、認定こども園、保育所の先生方にも公開しています。詳細は、別途ご案内します。

スタディ・メイト研修会

- ・日時 令和8年11月13日(金) 14:00～16:30
- ・会場 富山県総合教育センター(富山市高田525)

お問合せ・お申込みは、
市町村教育委員会まで

